

百舌鳥・古市古墳群の世界文化遺産国内推薦について

平成29年8月3日

平成29年7月31日（月）に、文化審議会世界文化遺産部会が開催され、百舌鳥・古市古墳群が国内推薦候補に決定しました。

【資産の概要】

1. 資産の名称：百舌鳥・古市古墳群

2. 概要：

- 百舌鳥・古市古墳群は、百舌鳥および古市の2つのエリアに分布する古墳49基、45件により構成される。
- これらは、古墳時代の最盛期にあたる4世紀後半から5世紀後半にかけて築造され、多様な墳形（前方後円墳、帆立貝形墳、円墳、方墳）と大小さまざまな規模（400m以上から20m程度まで）の古墳が密集している。
- とくに列島最大級の前方後円墳は、古代日本の王の墓と考えられるもので、これらを頂点として、大小さまざまに造り分けられた古墳は、全国各地の古墳造りの見本とされた。
- 各古墳は、葺石や埴輪などでにぎやかに飾られており、墳丘そのものが葬送のまつりの舞台として整えられたと考えられる。

3. 構成資産：

古墳時代の最盛期である古墳時代中期（4世紀後半～5世紀後半）に築造された総数49基45件の古墳

- ・百舌鳥エリア（堺市）：23基21件
- ・古市エリア（羽曳野市・藤井寺市）：26基、24件

【経過と今後のスケジュール】

平成22年 「百舌鳥・古市古墳群」がユネスコの世界遺産暫定一覧表に記載

平成23年 「百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議」（大阪府・堺市・羽曳野市・藤井寺市）の設置

平成25・27・28・29年 推薦書（原案）を国に提出

平成29年7月31日 文化審議会世界文化遺産部会で「百舌鳥・古市古墳群」が国内推薦候補として決定

平成29年9月 推薦書（暫定版）をユネスコ遺産センターに提出

平成30年1月 閣議了解

本推薦書をユネスコ遺産センターに提出

平成30年夏～秋 イコモス（国際記念物遺跡会議）による現地調査

平成31年春頃 イコモスによる評価結果の勧告

夏頃 ユネスコ世界遺産委員会で登録の可否を決定